

対象校No. 678

注1

学校コード F117310105497

注2

変更年度

令和

5年度

認可

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

注2

金沢学院大学

芸術学部

芸術学科

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人金沢学院大学

令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

企画部

職名・氏名

カチョウホサ オクムエ リ コ
課長補佐・奥村絵梨子

電話番号

076-229-8892（内線：334）

（夜間）

076-229-8892（内線：334）

e-mail

kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例） ○○大学（旧名称：◇◇大学（令和◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①芸術学部芸術学科	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人金沢学院大学

(2) 大 学 名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920—1392
石川県金沢市末町10の5番地

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アキヤマ ミノル) 秋 山 稔 (平成29年1月)		
学 長	(アキヤマ ミノル) 秋 山 稔 (平成25年4月)		
学 部 長	(イイダ エイジ) 飯 田 栄治 (平成28年4月)		
学科長等	(イチシマ オウギョ) 市 島 桜魚 (平成28年4月)	(ヒロネ アヤコ) 広 根 礼子 (令和8年4月)	業務負担の適正化のため (8)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告済の内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考				
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後								
芸術学部 芸術学科 学士（芸術学）	4 年	70 人	80 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 7 人 4年次 0 人	284 人	334 人	令和5 年度	—						
対象年度 区 分	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		令和８年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	80 （ 7 ） [—]	人 （ 7 ） [—]	80 （ 7 ） [—]	人 （ 7 ） [—]	80 （ 7 ） [—]	人 （ 7 ） [—]	80 （ 7 ） [—]	—	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.91倍	一倍
志願者数	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	183 （ 7 ） [—]	人 （ — ） [—]	168 （ 3 ） [—]	人 （ — ） [—]	178 （ 4 ） [—]	人 （ — ） [—]	234 （ 2 ） [—]				
受験者数	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	180 （ 7 ） [—]	人 （ — ） [—]	167 （ 3 ） [—]	人 （ — ） [—]	176 （ 4 ） [—]	人 （ — ） [—]	234 （ 2 ） [—]				
合格者数	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	155 （ 7 ） [—]	人 （ — ） [—]	144 （ 3 ） [—]	人 （ — ） [—]	158 （ 4 ） [—]	人 （ — ） [—]	176 （ 2 ） [—]				
B 入学者数	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	人 （ — ） [—]	71 （ 7 ） [—]	人 （ — ） [—]	70 （ 3 ） [—]	人 （ — ） [—]	87 （ 4 ） [—]	人 （ — ） [—]	68 （ 2 ） [—]				
入学定員超過率 B／A	—		—		0.88		0.87		1.08		0.85				

(注)・当該調査対象の学部・学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和３年度定員変更の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和８年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「－」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について**外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和９年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・「（５）調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「２ 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	金 沢 学 院 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
情報工学部	4	100	0	400	-	0.46	-	-	令和6	-		
情報工学科	4	100	0	400	学士(工学)	0.46	-	-	令和6	石川県金沢市末町10の5番地		
経済学部	4	230	3年次10	940	-	0.94	-	-	令和2	-		
経済学科	4	140	3年次5	570	学士(経済学)	0.86	-	-	令和2	同上	令和8年度から入学定員変更(160→140)	
経営学科	4	90	3年次5	370	学士(経営学)	1.08	-	-	令和2	同上	令和6年度から入学定員変更(70→90)	
文学部	4	170	3年次8	696	-	0.92	-	-	平成27	-		
文学科	4	170	3年次8	696	学士(文学)	0.92	-	-	平成27	同上	令和8年度より入学定員変更(180→170)	
日本文学専攻	4	55	(便宜上)4	228	学士(文学)	0.85	-	-	平成27	同上	令和8年度より入学定員変更(60→55)	
英米文学専攻	4	30	0	120	学士(文学)	0.43	-	-	平成27	同上		
歴史学・考古学専攻	4	45	(便宜上)4	188	学士(文学)	1.07	-	-	平成27	同上	令和8年度より入学定員変更(50→45)	
心理学専攻	4	40	0	160	学士(文学)	1.22	-	-	平成27	同上		
教育学部	4	70	3年次5	290	-	0.92	-	-	令和4	-		
教育学科	4	70	3年次5	290	学士(教育学)	0.92	-	-	令和4	同上		
芸術学部	4	80	3年次7	334	-	0.91	-	令和5	平成28	-		
芸術学科	4	80	3年次7	334	学士(芸術学)	0.91	-	令和5	平成28	同上	令和5年度から入学定員変更(70→80) 令和5年度から編入学定員変更(2→7)	
栄養学部	4	80	3年次5	330	-	0.97	-	-	令和3	-		
栄養学科	4	80	3年次5	330	学士(栄養学)	0.97	-	-	令和3	同上		
スポーツ科学部	4	180	3年次10	740	-	1.11	-	-	令和3	-		
スポーツ科学科	4	180	3年次10	740	学士(スポーツ科学)	1.11	-	-	令和3	同上		
経済情報学部	4	-	-	-	-	-	-	-	令和2	-		
経済情報学科	4	-	-	-	学士(経済情報学)	-	-	-	令和2	同上	令和6年度より学生募集停止	
大学全体	4	910	3年次45	3730	-	-	-	-	-	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部 of 学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください（本報告書以外の学科も含む）。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和９年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	・ 収容定員充足率が0.43倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、より効果的な改善策を新たに講じる等、収容定員の更なる充足に努めること。また、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、適切な収容定員の見直しを検討すること。(情報工学部情報工学科)	【AC】 指摘事項 (是正) 情報工学部情報工学科においては、収容定員充足率が0.43倍と低い状況にあることを踏まえ、学生確保に向けた取組を継続的に実施している。令和7年度は、オープンキャンパスを11回実施するとともに、高校訪問、DXハイスクールとの連携、高校生・高校教員向けDX講座等を通じて、情報工学部の教育内容や将来性の周知に努めた。その結果、令和8年度入学者選抜における志願者数は205人となり、前年度の194人から微増した。また、入学者数も58人となり、令和7年度の55人から微増した。加えて、学部開設後3年目を迎え、在学生が卒業研究に向けた活動を本格化させる段階となったことから、在学生の学修成果や成長を学生募集活動に活用する取組を進めている。特に、在学生の出身高校を中心に、学部での学びや大学生活の具体像が伝わりつつある。また、生成AIの仕組みの解説、AIグラスを活用した体験的な説明、人工知能学会会長である栗原聡教授の非常勤講師招聘、公開講座の実施等により、急速に進化するAI技術と情報工学部の学びを結び付けた広報活動を展開している。現時点では卒業生がいないため就職実績を活用できないが、地元企業を中心とした積極的な求人環境や、在学生の研究会・学会等での研究発表の実施及び周知を視野に入れ、学修成果の可視化に努めている。(8)	履行中 令和8年度以降も、収容定員の充足に向けて、教育内容の充実と学生募集活動の強化を一体的に進める。具体的には、オープンキャンパス、高校訪問、DXハイスクールとの連携、高校生・高校教員向けDX講座等を継続するとともに、在学生の学修成果、卒業研究に向けた活動、研究会・学会等での研究発表を積極的に周知し、情報工学部で学ぶ具体的な意義を高校生、保護者、高校教員に分かりやすく発信する。また、生成AI、AIグラス等の新しいAI技術を活用した体験的な広報を継続し、AI、データサイエンス、DX、プログラミング等の成長分野を学べる学部としての特色を明確に示す。あわせて、志願者数、入学者数、オープンキャンパス参加者数、高校訪問の反応、地域における情報系人材需要、競合校の状況等を継続的に把握し、長期的な学生確保の見通しについて客観的根拠に基づく分析を行う。その結果を踏まえ、学生募集活動の改善を進めるとともに、必要に応じて収容定員の適切な見直しについても検討する。特に、完成年度を迎えるまでの間は、教育研究体制、就職支援、地域企業との連携、学生募集状況を総合的に点検し、収容定員の更なる充足に向けた実効性のある改善策を講じる。(8)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	・ 改善策を講じているものの、引き続き多くの基幹教員が辞任していることから、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編制のため、示された改善策を着実に実施するとともに、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。(教育学部教育学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 前年度に立ち上げた法人幹部を含む検討委員会を開催し、詳細な原因分析に基づく改善策を実施した。現教員への定期的な意思確認や個々の事情の早期把握、研究・教育環境の整備に努めた結果、今年度の教員の自己都合による離職は1名に抑えられた。これまでの面談による早期の課題解決や慰留措置が一定の成果を上げ、教員組織の安定化が進みつつある兆候と分析している。また、辞任等に伴う後任人事においては、科目適格性を厳格に審査した上で、新たに2名の若手教員を採用した。これにより、教員の年齢構成の平準化と同時に、将来にわたって持続可能で活気ある教育研究体制への移行を進めている。(8)	履行中 今後も検討委員会を継続して開催し、教員へのきめ細かなヒアリングや研究・給与面等の環境改善を引き続き実施し、教員が抱える個々の事情や課題を常に学内で共有・解決できる体制を維持することで、辞任の未然防止に努める。地域外から新たに赴任した教員については、安心して教育研究に専念できるよう、学内コミュニケーションの活性化など、定着に向けた組織的なフォローアップ体制を構築する。これにより、生活環境や研究環境の変化による不安を解消し、中長期的な離職防止を徹底するとともに、科目に対する教員の適正配置や計画的な教員選考を継続し、教育研究水準の持続的な向上と学生への確実な支援体制の維持を図っていく。(8)

設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	・定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実行すること。(栄養学部栄養学科)	【AC】 指摘事項 (改善)	昨年度に策定した計画に基づき、定年規程を超える教員の順次退任と組織の若返りに向けて、検討委員会を中心に積極的な公募および採用活動を展開した。しかしながら、栄養学分野における特定の専門性を有する教員の人材市場の逼迫や地域的要因等から、求める要件を満たす若手・中堅教員の確保は極めて難航している。このような状況下において、完成年度を経過した現在も、学生に対する教育の質の担保およびカリキュラムの確実な履行を最優先に考慮した結果、実績と経験の豊富な教員を継続して任用している。定年超過教員の割合が高い現状の即時是正には至っていないものの、教育研究水準を維持し学生に不利益を与えない体制を堅持しつつ、組織編制の将来構想に向けた調整を継続している。(8)	履行中	今後とも、教育の質を維持しながら定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用を達成するため、検討委員会において教員組織編制の将来構想を再点検し、段階的な年齢構成の是正に向けた実効性の高い採用活動を継続する。具体的には、従来の一般的な公募形式にとどまらず、関連学会や研究機関、他大学とのネットワークを幅広く活用したアプローチを強化するとともに、実務家教員の登用も含めた採用ルートが多様化を図ることで、求める人材の確保に全力を注ぐ。また、現在在籍している退職年齢を超える教員が有する優れた知識や経験の確実な継承を計画的に進めつつ、新たに迎える教員の定着を促す学内サポート体制を整備し、中長期的な視点から持続可能で適正な年齢構成による教員組織の構築を着実に実行していく。(8)
--------------------------------	--	----------------------	--	-----	--

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「(7)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(8)」と記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「(7) (8)」と記載してください。

【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(8)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、**当該調査の実施年度**を記入してください。